

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

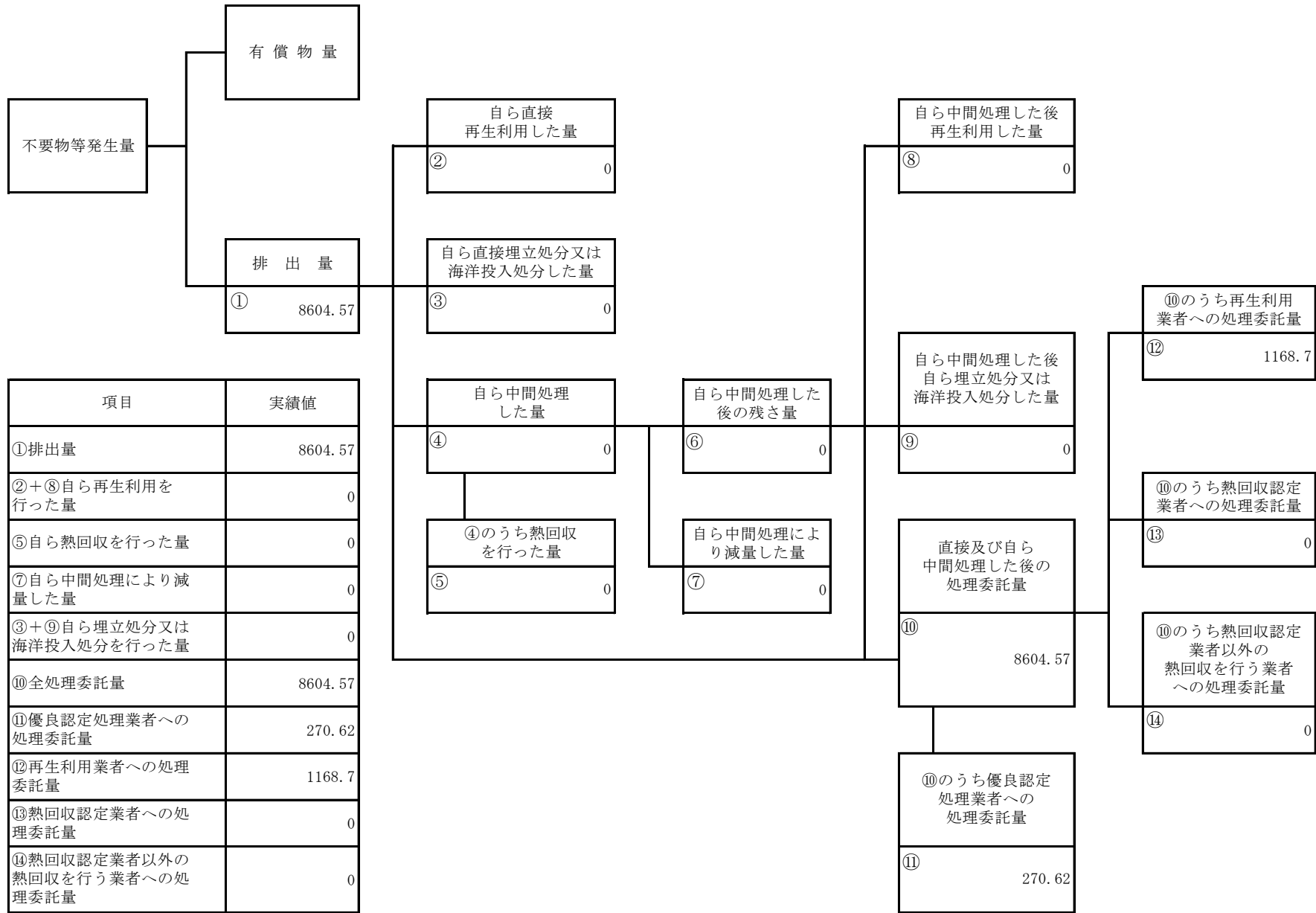
(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年6月 18日			
北九州市長 武内 和久 様			
提出者			
住 所 神奈川県横浜市西区南幸1丁目1番1号 JR横浜タワー22階			
氏 名 東邦チタニウム株式会社			
代表取締役社長 山尾 康二			
電話番号 045-394-5522			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	東邦チタニウム株式会社 若松工場		
事業場の所在地	北九州市若松区響町1-62-1		
事業の種類	非鉄金属製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	10,550 t	全処理委託量	10,550 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	500 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,720 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

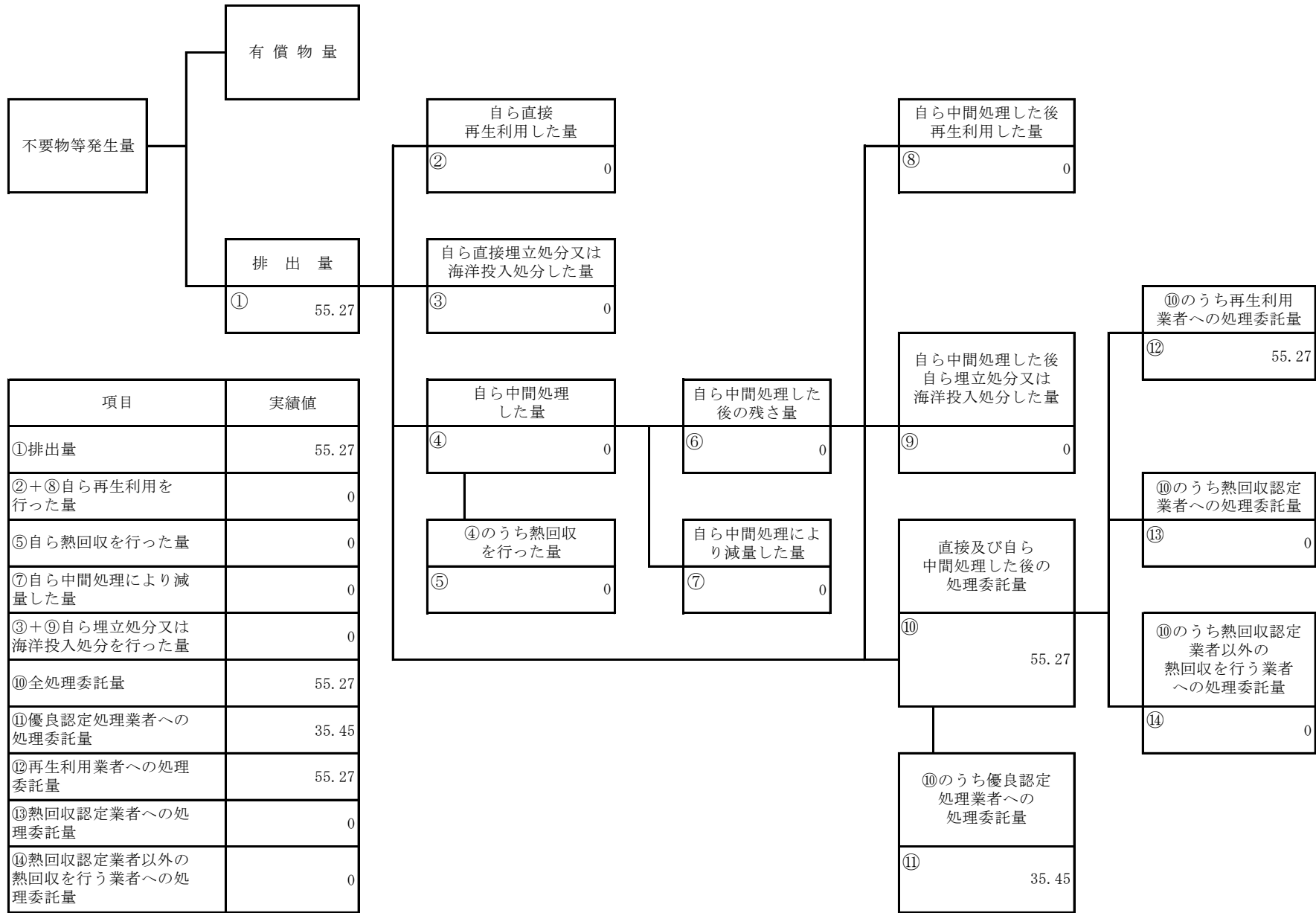
(産業廃棄物の種類： 汚泥)



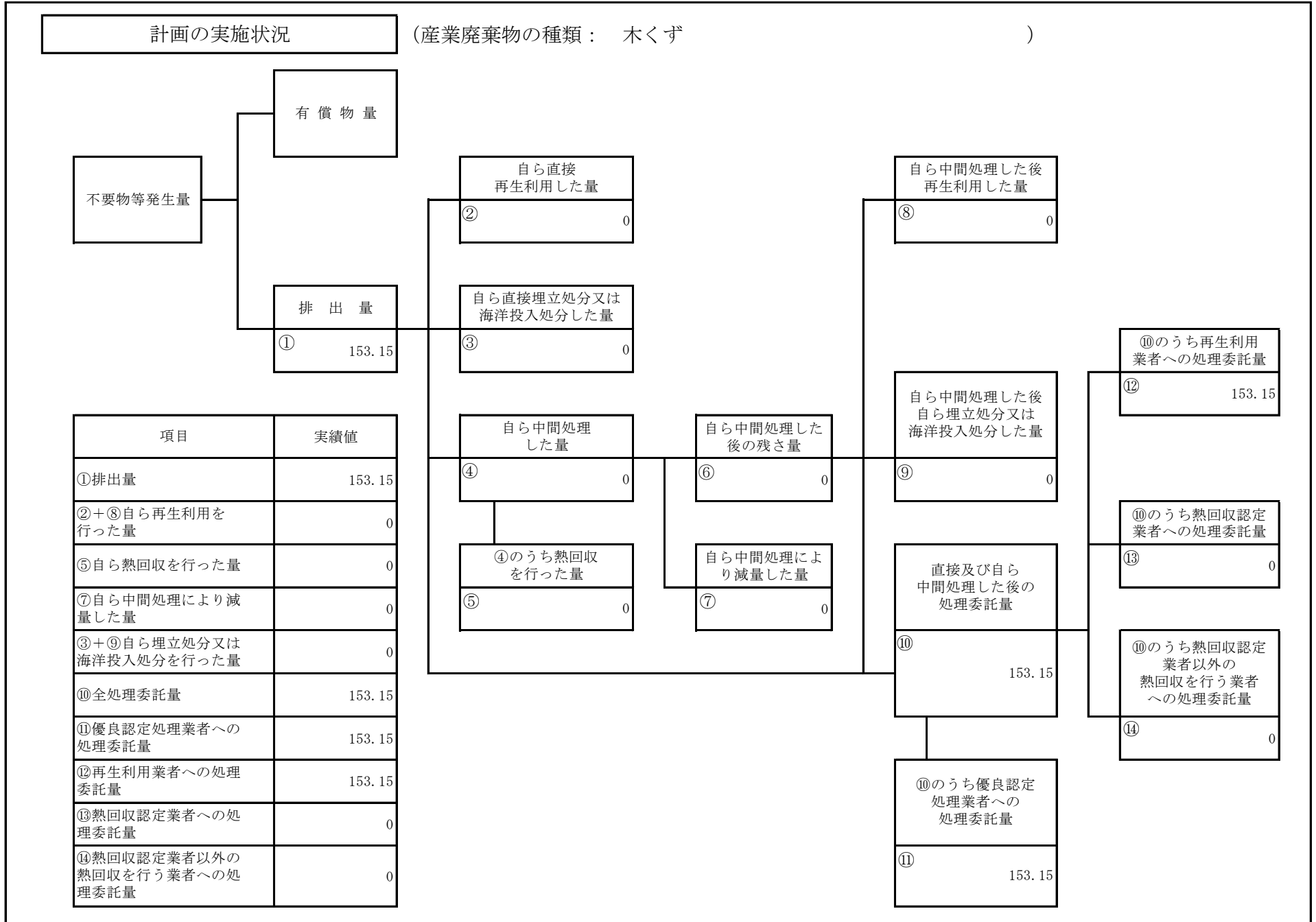
項目	実績値
①排出量	8604.57
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	8604.57
⑪優良認定処理業者への処理委託量	270.62
⑫再生利用業者への処理委託量	1168.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

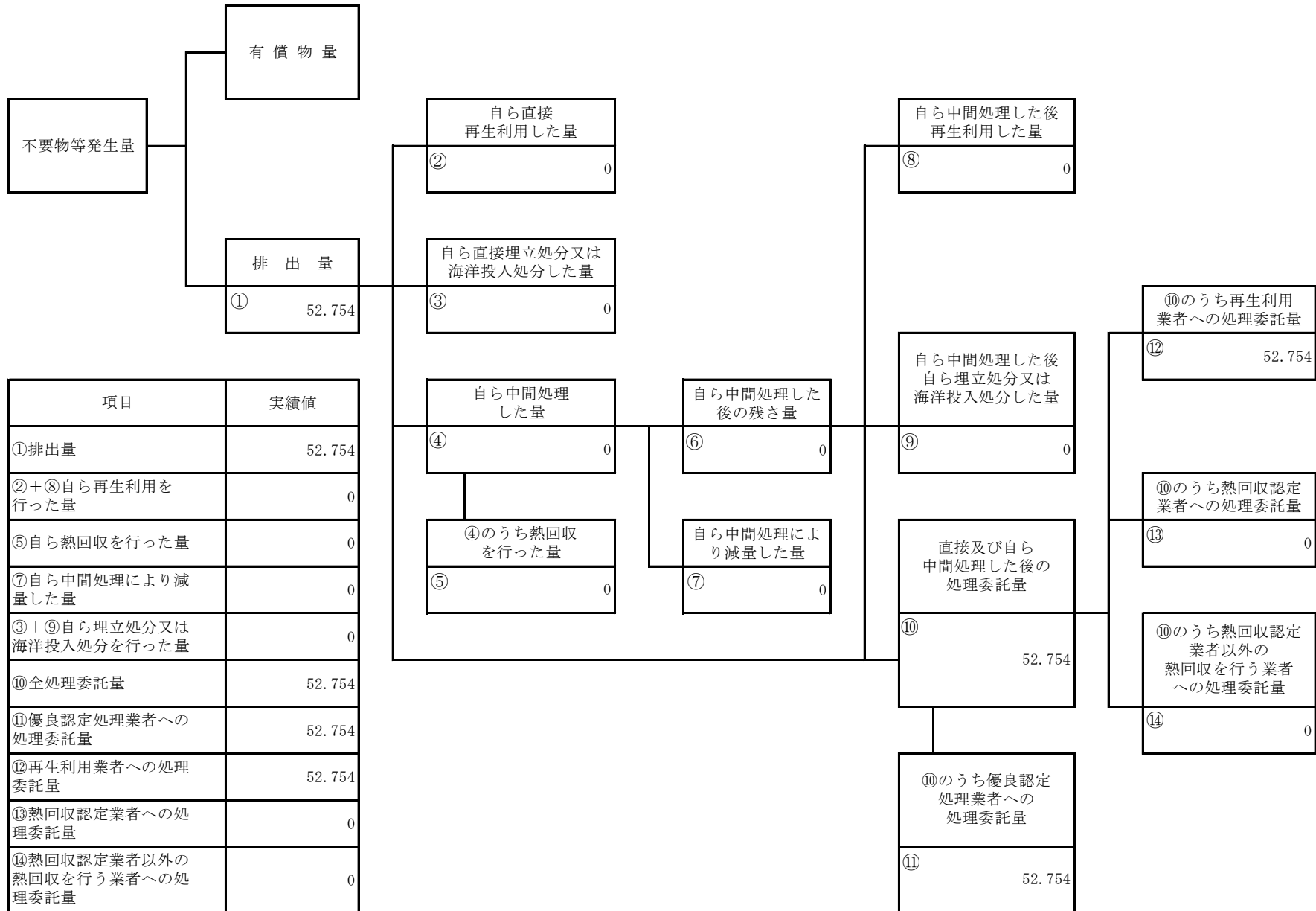


項目	実績値
①排出量	55.27
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	55.27
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.45
⑫再生利用者への処理委託量	55.27
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

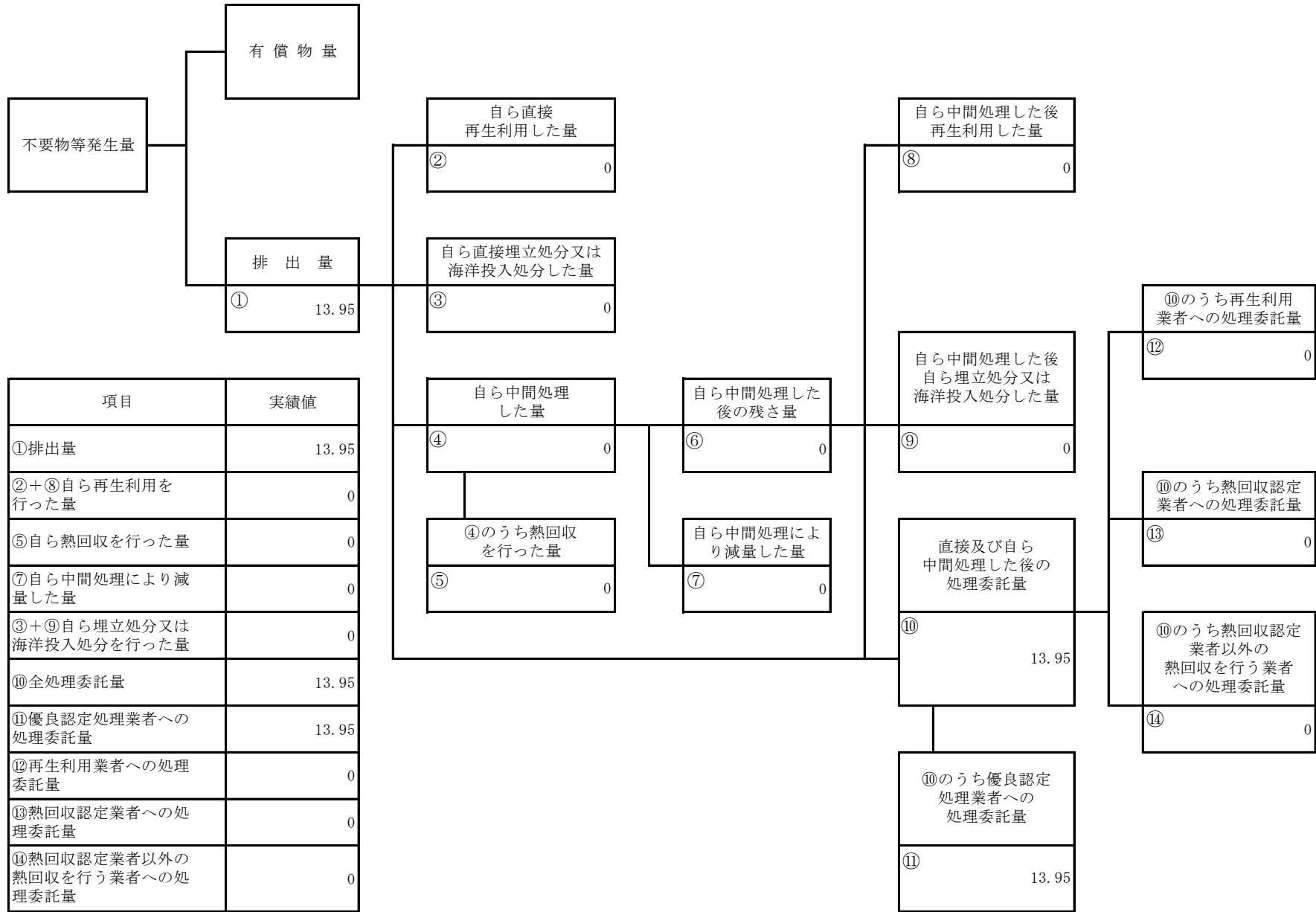
(産業廃棄物の種類： 混合系廃棄物)



項目	実績値
①排出量	52.754
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	52.754
⑪優良認定処理業者への処理委託量	52.754
⑫再生利用者への処理委託量	52.754
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

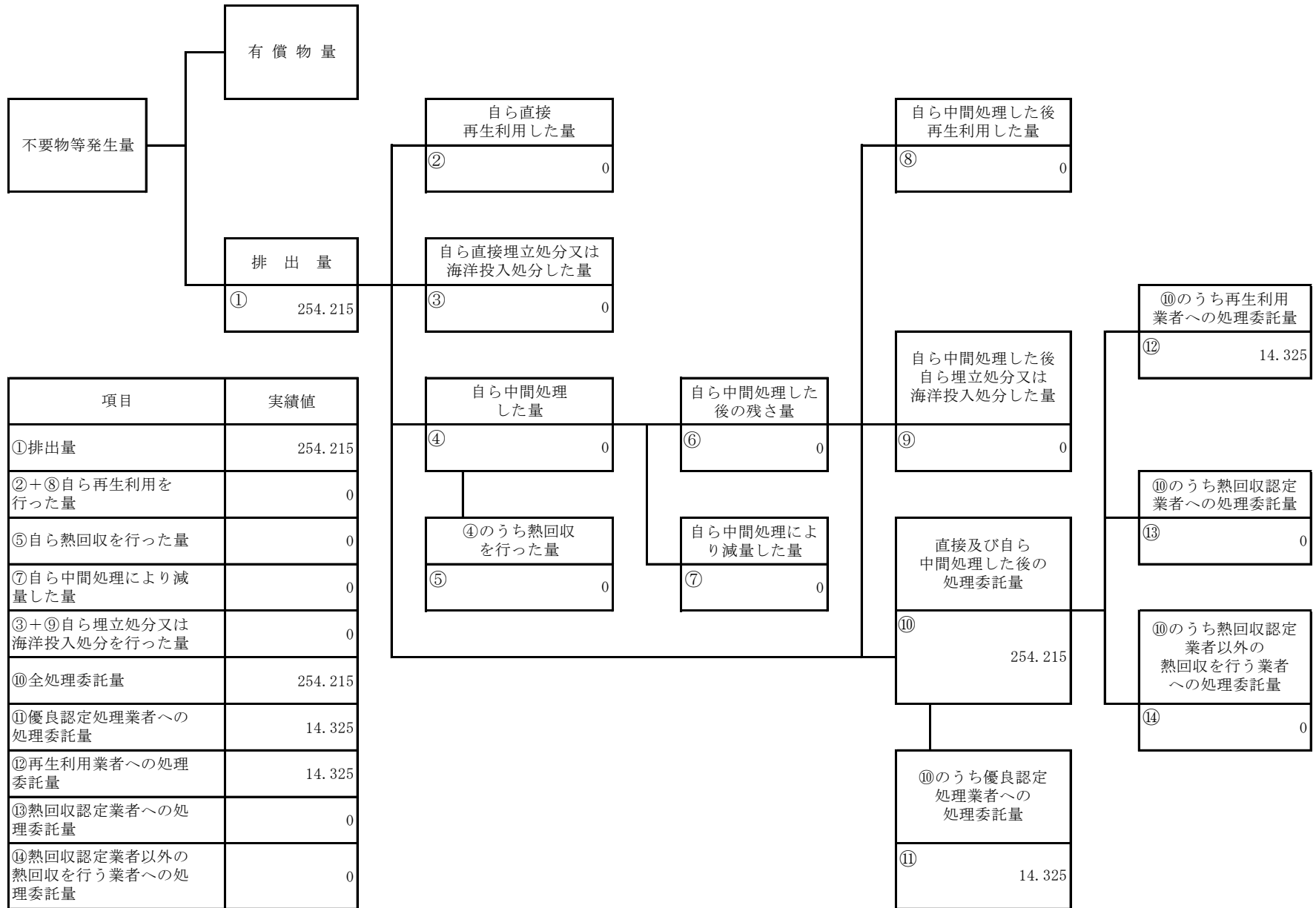
(産業廃棄物の種類： 廃油)



項目	実績値
①排出量	13.95
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	13.95
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.95
⑫再生利用者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

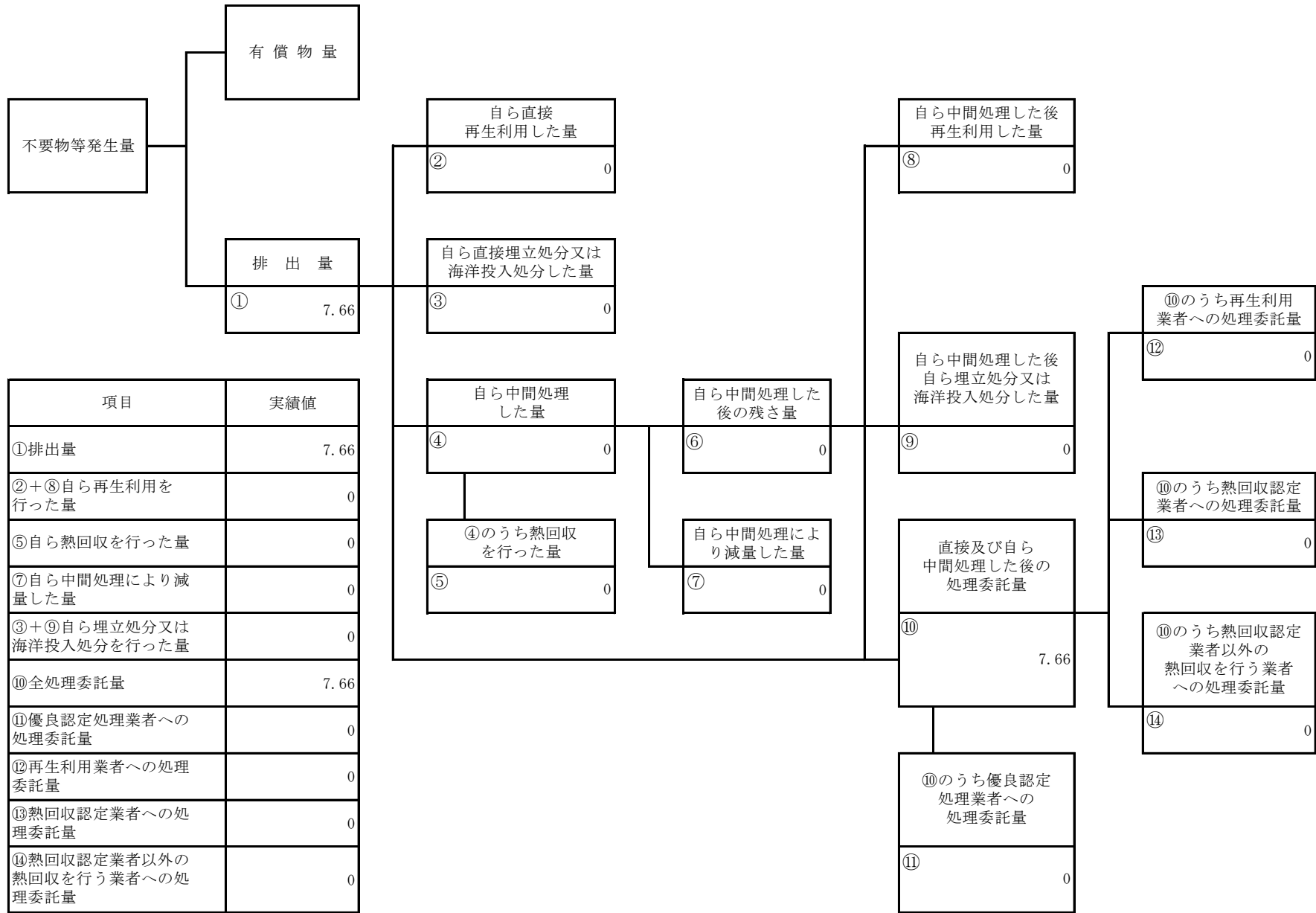
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 鋳さい)



項目	実績値
①排出量	7.66
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	7.66
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

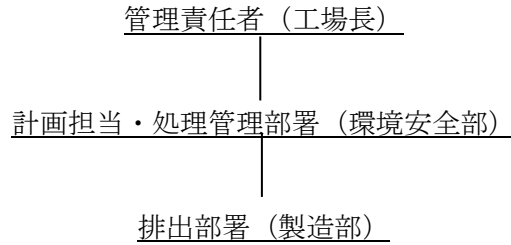
産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 18日	
北九州市長 武内 和久 様	
提出者	
住 所 神奈川県横浜市西区南幸1丁目1番1号 JR横浜タワー22階	
氏 名 東邦チタニウム株式会社 代表取締役社長 山尾 康二	
電話番号 045-394-5522	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東邦チタニウム株式会社 若松工場
事業場の所在地	北九州市若松区響町 1-62-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	非鉄金属製造業
② 事業の規模	スポンジチタンの出荷額：225億円 Ni粉の出荷額：56億円
③ 従業員数	380人(令和6年4月1日時点)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<u>別紙1「産業廃棄物の一連の処理の工程」参照</u>

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和5 年度) 実績】		
	別紙1「産業廃棄物の排出の抑制に関する事項」参照	産業廃棄物の種類	
排出量			t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
別紙1「産業廃棄物の排出の抑制に関する事項」参照	排出量		t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none">・汚泥：特になし・廃プラスチック類：非塩素系の分別・木くず：特になし・混合系廃棄物：特になし・廃油：有価物との分別・鋳さい：特になし・ガラスくず：有価物との分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none">・汚泥：特になし・廃プラスチック類：非塩素系と有価物の分別・木くず：有価物の分別・混合系廃棄物：特になし・廃油：有価物との分別・鋳さい：特になし・ガラスくず：有価物との分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状 再生利用なし	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画 再生利用なし	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	※脱水処理等の中間処理は行っているものの、処理量の詳細データをとっていない。 (これまでに実施した取組) 脱水処理工程の維持管理の徹底 使用原材料の検討（不純物の少ない鉱石購入）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	※脱水処理等の中間処理は行っているものの、処理量の詳細データをとっていない。 (今後実施する予定の取組) 脱水処理工程の維持管理の徹底 使用原材料の検討（不純物の少ない鉱石購入） 汚泥量の削減（製造工程変更による汚泥発生量の抑制）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状 <u>自らの処分なし</u>	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画 <u>自らの処分なし</u>	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状 <u>別紙2「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」参照</u>	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画 <u>別紙2「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」参照</u>	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙 1

「産業廃棄物の一連の処理の工程」

1. 汚泥
要処理廃水 → 中和処理 → シックナー（凝集沈殿）→ 脱水処理（フィルタープレス）
→ 収集運搬（委託）→ 最終処分（委託/埋立て処分）
2. 汚泥
要処理廃水 → 収集運搬（委託）→ 中間処理（委託）→ 最終処分（委託/セメント原料）
3. 廃プラスチック類
要廃棄物 → 収集運搬（委託）→ 中間処理（委託/破碎）→ 最終処分（委託/焼却・他）
4. 木くず
要廃棄物 → 収集運搬（委託）→ 中間処理（委託/破碎）→ 最終処分（委託/焼却・他）
5. 混合系廃棄物
要廃棄物 → 収集運搬（委託）→ 中間処理（委託/破碎）→ 最終処分（委託/焼却・他）
6. 廃油
要廃棄物 → 収集運搬（委託）→ 中間処理・最終処分（委託/焼却）
7. 鉱さい
要廃棄物 → 収集運搬（委託）→ 中間処理・最終処分（委託/埋立て処分）
8. ガラスくず
要廃棄物 → 収集運搬（委託）→ 中間処理（委託）→ 最終処分（委託/焼却・埋立て処分・他）

「産業廃棄物の排出の抑制に関する事項」

① 現状【令和5年度実績】

産業廃棄物の種類	排出量（t）	これまでに実施した取組
汚泥	8605	脱水処理工程の維持管理の徹底 使用原材料の検討（不純物の少ない鉱石購入）
廃プラスチック類	55	特になし
木くず	153	廃パレットの有価物化
混合系廃棄物	53	特になし
廃油	14	一部有価物化
鉱さい	7	特になし
ガラスくず	254	レンガ類の有価物との分別

② 計画【目標】

産業廃棄物の種類	排出量（t）	今後実施する予定の取組
汚泥	9,000	脱水処理工程の維持管理の徹底 使用原材料の検討（不純物の少ない鉱石購入） 汚泥量の削減（製造工程変更による汚泥発生量の抑制）
廃プラスチック類	60	廃フレコンの有価物化
木くず	120	廃パレットの有価物化
混合系廃棄物	60	特になし
廃油	20	一部有価物化
鉱さい	10	特になし
ガラスくず	200	レンガ類の有価物との分別

別紙 2

「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」

① 現状【令和5年度実績】

産業廃棄物の種類	全処理委託量 (t)	再生利用業者 への処理委託量	これまでに実施した取組
汚泥	8605	1,169	再生利用業者への処理委託量増
廃プラスチック類	55	55	特になし
木くず	153	153	特になし
混合系廃棄物	53	53	特になし
廃油	14	—	特になし
鋳さい	8	—	特になし
ガラスくず	254	14	特になし

② 計画【目標】

産業廃棄物の種類	全処理委託量 (t)	再生利用業者 への処理委託量	今後実施する予定の取組
汚泥	9,000	2,000	再生利用業者への処理委託量増
廃プラスチック類	60	60	特になし
木くず	120	120	特になし
混合系廃棄物	60	60	特になし
廃油	20	—	特になし
鋳さい	10	—	特になし
ガラスくず	200	100	再生利用業者への処理委託量増